

# みなとっふ

Takanawa  
Community News Magazine

## 高輪地区情報紙

2013年7月

## Vol.21

三田4・5丁目・高輪  
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課  
編集：みなとっふ編集室



## CONTENTS

### ② 活かそう地域の 商店街

・魚らん商店会

高松くすのき公園が  
開園しました

わたしだって地域の  
一員!

### ③ この街に この人あり

・明治学院大学 学長  
鵜殿 博喜さん



### ④⑤ 地域のあしあと

・高輪地区の老舗をたずねて

### ⑥ 暮らしプレイバック

読者のおすすめ料理

### ⑦ 私の自慢 地域の自慢

### ⑧ 区からのお知らせ

表紙絵

【タイトル】泉岳寺

【表紙絵作者】島田 公子さん(高輪在住)



## 高輪地区に移り住んで

高輪地区に引っ越してきて、ほぼ2年になります。成田空港や羽田にアクセスが良いことが気に入った他は、何の予備知識もなく、知り合いもないという状態でした。初めての東京の都心暮らし。都会の人は、隣近所の付き合いを嫌い、自分の生活に立ち入られるのを嫌がる、ステレオタイプイメージが先行し、お友達ができるかなと漠然と不安に思っていました。

さて、実際はどうだったでしょうか？ 私の不安は、まったくの杞憂に終わりました。私が越してきたばかりだと知ると、お買い物場所を教えてくださいと、街角に設置してある地域の地図を上げしげと見ていると、「どちらにいらっしゃるの？」と声をかけてくださる方、犬を散歩させていれば、犬を連れてくる同士、顔馴染みになり、ご挨拶とともに立ち話にもなる時もあります。

高輪地区の方々は、どうして、こんなに新参者に親切なのでしょう。私見ですが、戦後、大使館が設置され、それに伴い、各国の多様な価値観、生活習慣を持つ人が隣人となる体験をされた方が多い。また、学校が多く（大学4校、高校6校）、常に若い学生さんの出入りがあり、接する機会があるなど、入ってくる人に慣れていく。だから、自然とホスピタリティーが身についているのかなと思います。

行政面では、この地域に暮らす人々に様々なサービスを提供しているのが、街角の掲示板や図書館に配置してあるチラシ等で、自然と目に入ってくるのも嬉しいものです。そうして知った催しや行事に参加して、だんだんと地域の事が分かってきて、愛着が湧くようになりました。そして、こんな素敵な人々がいて、行政のバックアップもあるこの地域で、ボランティアをしたくなり、こうして、地域情報紙の編集メンバーとして活動するまでになりました。少しずつ高輪地区が「自分の街」になっていくようです。

蛇足ですが、この春の朝、目覚めるか目覚めないかの時に鶯の鳴き声を聞きました。一日目は寝ぼけているのかと思いましたが、二日続けてだったので本物だと確信しました。こんな都会で、早春の知らせを耳にすることが出来るのは嬉しいものです。

# 活かそう地域の商店街

## 魚らん商店会

### 魚らん納涼フェスティバル 盆踊りとジャズで街を元気に！

魚らん商店会は、白金高輪駅の近くで、高輪、三田、白金の店舗が会員となっています。魚らん銀座商店会協同組合理事長の伊藤方夫さんにお話を伺いました。会員数は56軒、3分の1が飲食、3分の1が物販、3分の1がサービスの店舗となっています。300年続く畳屋さんから、パリの有名なパン屋さんまで新旧織り交ぜた多様な店舗があります。



高輪シーサイド・ブリーズ



理事長 伊藤 方夫さん

魚らん商店会ができたのは戦後ですが、戦前から前身の商店会がありました。商店会の周辺は町工場が多く、都電のターミナル駅があったことからたくさんのお店とともに、映画館、パチンコ屋に寄席まであり大層にぎわっていました。都電が廃止され、道路が拡張整備されたことにより閉鎖した店舗も多くあり、後継者問題に頭をいためている店主さんも多いようです。

商店会は活性化のためにいくつかイベントを催しています。春には近所の12カ寺を回るスタンラリーが催されました。夏には毎年、魚らん納涼フェスティバルとして納涼盆踊り大会とともにトワイライト・ジャズコンサートが行われます。今年は7月27日、28日です。ジャズコンサートには地元の高輪シーサイド・ブリーズが出演する予定です。また、これらのイベントに合わせて7月1日から8月3日まで特賞として魚らんお買物券5万円があたる福引セールを行います。

魚らん商店会のある地域は再開発の話がいくつかあり、人口の増加が今後も期待されます。10年後には今と違った街並みの中で商店街がどのように変化していくのか、とても楽しみです。

(担当/菅野、梶、安藤)

## 高松くすのき公園が開園しました

今年4月に高輪一丁目児童遊園(通称げじげじ山公園)が、高松くすのき公園としてリニューアルオープンしました。面積を約3600㎡に拡張して公園として整備し、遊具などもすべて一新しました。この公園は道路から見えにくいので防犯上の配慮から開園時間を朝7時から19時までとしています。

計画づくりは、近隣の住民や教育関係者などの方が参加し6回のワークショップを行い、1年間かけてまとめられました。まさに住民参加で計画された公園です。

公園の名称も近隣の方からの公募により出された案を、区へ提出し決められました。公園はいくつかのゾーンに分けられます。子どもたちがおもしろい遊びゾーンや、大人が散歩し憩える静かなゾーンなどがあります。この公園は、くすのきなど大きな木が多く緑豊かです。ベンチが多く



大人が憩える静かなゾーン



子どもが思いっきり遊べるゾーン



(担当/滝川、三村、安藤)

## わたしだって地域の一員！



かなちゃん(柴犬/メス/1歳半)  
飼い主 塚田さん(白金台2丁目)

柴犬は日本古来の犬種で縄文時代から狩猟犬として活躍してきたそうです。一説によると、毛色が枯れたシバ色なので柴犬と呼ばれ、国の天然記念物にも指定されています。高温多湿のわが国に適し、主人に忠誠を尽くすので番犬に向いているともいわれています。よく見かける、いわゆる「豆柴」は、飼いやすいように小型に改良された種類です。

うちの父は大の日本犬好きなので、代々30kg以上もある秋田犬を飼っていました。柴犬は、かなが初めてです。

かなは、父母ともに「本柴」という正統派の赤毛の柴犬です。日本犬は、ピンと立った耳と立派に巻いた尻尾がチャームポイントです。

かなはまだ1歳半のお転婆盛り。庭を駆け巡ったり、大きな庭石をとびこえたり、毎日はいしゃいでいますが、疲れると縁側の沓脱石の上で蝶々を眺めています。こぼれ汁のきいた煮キャベツやお魚が好物です。

羨もやっとなので、古い昭和風の家をバックに雑誌に載ったこともあります。

かなは、人が大好きです。家の周りをお散歩しているときに見かけたらお声をかけてくださいね。

(担当/安、滝川、森)



# この街にこの人あり

明治学院大学学長

うどの ひろよし  
鶴殿 博喜さん



## 『150周年を迎え、建学精神にたちかえり進んでいきます』

ご専門はドイツ文学ですか？ドイツ文学に進まれたきっかけは？

最初はドイツに行きドイツ菓子の職人になろうと考えて、獨協大学に入りました（笑）。

ゲーテ、シラーなどの本を読むうちに、ドイツ文学が好きになってしまい、特に、シラーの本から影響を受けました。さらに、2カ月間ドイツの大学のサマースクールに参加したり、ドイツ各地を旅行してドイツに対する関心が深くなり、慶応の大学院でドイツ文学を専攻するようになりました。

今年で150周年になられるんですね。おめでとうございます。150周年はヘボン博士が横浜に1863年英学塾を開いた時からですね。白金に学校ができたのは、1887年ですね。

ヘボン博士が最初に開いた学校は、英学を教える学校でした。また、同時に無料で6000人から10000人の患者の治療を行ったそうです。まさに、「Do for Others」の精神でした。この英学塾から、高橋是清のような明治政府を支えた人々が輩出されました。白金に明治学院という名称で学校が創立された時の第一期生に島崎藤村がいました。社会福祉、社会活動分野で活躍した人が多く、賀川豊彦も本学で学びました。

150周年にはどんな記念行事・事業がありますか？

150周年は創設者ヘボンの高い理想に基づき、献身的な行い、その精神を後世に伝えるという目標を掲げています。

大学が主体で行う行事や学生が主体で行う行事など数多くありますが、お薦めは「五線譜に描いた夢——日本近代音楽の150年」展です。本学の日本近代音楽館の資料を中心に全国の資料館、美術館などに残された資料（楽譜）を一堂に集め、東京オペラシティアートギャ

ラリーに展示します。

また、国際赤十字社が今年ちょうど150周年を迎えたので、明治学院大学と日本赤十字社で「ボランティア・パートナーシップ・ビヨンド150」という共同宣言を行いました。人道機関と教育機関の特長を活かしてお互いの経験や知識を共有し、ボランティアの最先端を切り拓いてゆきます。まず、被災地の方をお招きして、夏に北海道でサマーキャンプをする計画があり、学生を募集したら教室にあふれるほどの応募者がありました。



150周年で地域の方が参加できるプロジェクトがありますか？

「Do for Others」の精神に基づき、社会貢献をテーマに学生とプラチナ世代が討論する白熱討論会があります。学生とプラチナ世代のチャレンジコミュニティ大学修了生が

参加し討論します。地域の方もぜひご覧ください。

明治学院大学の港区との地域連携のことでおたずねします。

2008年、「港区と明治学院との連携協力による基本協定」を結んでおり、現在次のような事業を行っています。チャレンジコミュニティ大学、高輪地区総合支所地域事業、高輪地区子育てネットワークなどです。

特に、チャレンジコミュニティ大学を立ち上げたのが地域との連携でもよかったと思います。明治学院大学の方が地域の福祉や社会活動に取り組んでいます。

チャレンジコミュニティ大学の今後と修了生についてどうお考えですか？

チャレンジコミュニティ大学はこれからも続けたいと思っています。一般学生とチャレンジコミュニティ大学生とが同じ教室で授業を受けられるような講座があれば、お互い違う世代の考え方を知ることが刺激になると思います。

また、チャレンジコミュニティ大学修了生が学べるコースの設立も考えられます。

白金ボランティアセンターはどんなことをしていますか？

阪神淡路大震災の被災地支援がきっかけになりボランティアセンターがつけられました。今は東日本大震災の被災地で、大槌町と結んでいる「ボランティアに関する協働連携」を基にした、「明学・大槌町吉里吉里復興支援プログラム」により、延べ1000人の学生が様々なボランティア活動を行っています。また国際ボランティア活動としては、津波の被害にあったスマトラ島の支援

活動を行い、そのさいは、協定校であるタイのタマサート大学の協力をえました。

学生の社会貢献についておたずねします。

社会貢献というと、今は企業がもてはやされていますが、大学生が企業とともに社会貢献を考える、日経GSRプロジェクト「第3回学生アイデア・コンテスト」（日本経済新聞社主催）で、昨年は見事、明治学院大学のチームが最優秀賞を受賞しました。全国から選ばれた8校が競い合う中で、化粧品会社と商社との事業プランを発表したのです。

高輪地区についてどのような感想をお持ちですか？

慶應義塾大学にかなり長く非常勤で勤めていた時期があり、慶應義塾大学から高輪地区を通り明治学院大学までよく歩いていました。坂が多いのでちよつと疲れますが、古いお寺が多く歴史を感じさせる落ち着いたよい街だと思っていました。大きな国道を歩くとちよつと退屈するので、裏通りを歩くのが好きでした。

取材を終えて

学長にインタビューということで、こちらは緊張していましたが、ソフトでやさしいお人柄が感じられ、気さくにいろいろなことをお話くださり、ほっとしました。

「Do for Others」の精神から明治学院大学が150周年を迎え、さらに地域貢献に積極的に取り組む姿勢が感じられる取材でした。

（担当／安藤、谷知、吉田、内村）

鶴殿 博喜（うどの ひろよし）【プロフィール】

1949年、埼玉県秩父市に生まれる。秩父高校を卒業後、獨協大学外国語学部ドイツ語学科に進学。卒業と同時に慶應義塾大学大学院文学研究科独立専攻修士課程、博士課程に進み、満期退学のあと明治学院大学一般教育部専任講師に就任。教授になって以後、外国語教育研究所所長、一般教育部長、副学長を務める。2012年より学長に就任。専攻は18世紀ドイツ文学、宗教思想。

# 地域のおしあと

## 高輪地区の老舗をたずねて

**1 花藤** 高輪 2-6-22

寺々の門前で元禄(1688年~)の世からずっと商売を続けています。戦争中は一時疎開したこともあります。区内で一番古いといわれている花屋さんです。店内には昔の看板も残されています。



花藤看板  
(ますます繁盛するようにとの願いを込めての例で、家紋ではないそうです。)

**2 堀部石材店** 三田 4-8-18

忠臣蔵で有名な堀部安兵衛の子孫で、当代は安兵衛から数えて9代目、石材店としては7代目になるそうです。創業は元禄以降。(本紙7号掲載)

**3 清水長四郎商店** 高輪 1-3-15

享保11年(1726年)創業。高輪地域でひたすら畳を作り続けて287年。店内はイグサの香りがたぐい、黙々と作業に取り組む9代目、伝統と格式ある畳専門店です。(本紙1号掲載)

**4 牧野総本店** 高輪 1-21-1

明治元年(1868年)の創業から145年。江戸時代は、現在の場所で「桶屋」を営んでいたとのこと。明治になり、牧野伯爵家の葬儀に棺桶を納めた際、出来映えを大変喜ばれ「牧野」の名を屋号として拝領することを許されました。現在の店舗は、関東大震災以前のもので、屋根裏に太い真っ黒な横木や梁が今でも見られます。

A「門前町ヤ」に①花藤、B「門前丁ヤ」の辺りに④牧野総本店と②真水商店があったのではないかと推測されます。



地図参考文献：港区立港郷土資料館発行「増補港区近代沿革図集」所収の「御内場未仕還其外沿革図書」(弘化3年)

今号は、高輪地区内の老舗(しにせ)の特集です。老舗とは、①先祖代々の業を守り継ぐこと。②先祖代々から続いて繁盛している店。またそれによって得た顧客の信用・愛顧。(広辞苑)とあります。調べていくと、なんと江戸時代から続くお店や100年以上続いているお店も多く、驚きと共に、そこに携わって来られた方々のご努力・ご苦労に敬意を表したいと思います。お寺や大きなお屋敷が多かったこの町にふさわしいお店が多いことにも感動しました。やはり町の雰囲気と、その中のお店とは深いつながりがあるのですね。

**5 さつき濃 川上園** 高輪 1-21-5

明治23年(1890年)に創業し、123年経ちます。店主は3代目です。茶販売店は、明治元年(1868年)の建築物で、関東大震災、東京大空襲の戦火からも逃れ、現在も頑張っている堅牢な建物です。(本紙2号掲載)

■ 1890年 初の総選挙(第1回衆議院議員総選挙)

**6 能登理容室** 高輪 2-15-11

看板に since 1898 と書いてあり、今年で創業115年になります。当代(3代目)と、若い4代目(女性)が共に働く、明るい理容室です。(本紙2号掲載)

**7 玉菊湯** 白金 3-2-3

石川県羽咋市出身の初代が当時新古川橋にあった「玉菊湯」で奉公をしたのがはじまりで、そのまま経営を引き継ぐ一方、明治33年(1900年)には六本木にも「玉菊湯」を開きました。昭和に入って新古川橋の店を白金に移し、現在で4代目のご主人はとまりで薬局も経営しています。戦争で建物の屋根は焼失しましたが、煙突が残ったので、戦後、屋根がないまま風呂屋の営業を続けたそうです。創業して113年になります。

■ 1900年 上野・新橋両駅に初めて公衆電話を開設

**8 山城園** 白金台 4-8-4

初代が明治39年(1906年)奈良県柏原から上京し、乾物の行商を始めてから107年。麻布、白金と移り、関東大震災後、2代目が白金台に大和屋本店を建てました。戦時中、食糧統制で砂糖などの仕入れが難しくなったため、静岡の縁者を頼り仕入れることができたお茶や海苔の販売を始め、主力商品の変更に伴い大和屋本店という名称は現在の山城園へ変わりました。



**9 川越屋豆腐店** 白金 6-4-4

川越出身の先代が、姉の嫁ぎ先である恵比寿の「豆腐屋」で修業を積み、明治40年(1907年)に現在地に店を開いて106年、ご主人は2代目です。戦争中、戦火は裏の家までできて我が家の物干し台の柱の裏は焼けて黒く、表は焼けていなかったことが小さい頃の記憶に残っているそうです。朝2時ごろから作る豆腐を買いに来る遠方からのお客さんも多いと伺いました。(本紙1号掲載)

**10 小泉義士堂** 高輪 2-1-30

創業は明治40年頃(1907年頃)で、それから100年程。店主は4代目です。泉岳寺山門入口そばにある、小泉義士堂は「忠臣蔵」にまつわる土産物がたくさんあり、多くの参拝者で賑わっていますが、第二次世界大戦後、連合国軍占領下の規制により泉岳寺参拝を禁止され、大変苦労した時期があったそうです。

**12 フヂイテラー** 高輪 1-27-22

大正6年(1917年)に開業して96年、区画整理で現在の場所に移ってから40年です。最初は紳士服が専門でしたが、明治学院の制服を引き受けてからはメインは制服になっています。1964年の東京オリンピックの開会式で日本選手団が着ていた真紅のブレザーコートは、当時結成されていたジャパンスポーツウェアクラブ(オリンピックのプレザーを受注したテラーのクラブ)の一員としてこのお店で作ったものです。ちなみに、1956年のメルボルンオリンピックと1960年のローマオリンピックのプレザーも手がけたそうです。



東京オリンピックのプレザー



**13 松島屋** 高輪 1-5-25

大正7年(1918年)の創業から95年、店主は3代目です。昭和天皇が高輪に住居されていた皇太子殿下の頃、松島屋の豆大福を大変好まれ、その後高松宮様とお話し合いをなさる時等、お召し上がりになったそうです。(本紙1号掲載)

**14 佐藤邦明青果店** 白金 6-5-3

世田谷の庄屋の家に生まれた佐藤豊次郎氏が、虎ノ門に八百屋を開業したのは今から約150年前、その後、2代目に当たる貞治氏が白金に支店を出して以来90年、現在のご主人は3代目になります。所狭しと並んだ商品の多さに驚きます。現在は業務用卸が中心ですが、近くのお客さんの出入りが絶えない昔ながらの八百屋さんです。

**15 升本酒店** 高輪 3-9-13

創業年は明確ではありませんが、関東大震災(1923年)の時には既に営業していたそうです。

**16 長谷川弓具店** 三田 4-8-34

昭和元年(1926年)に創業してから87年。店主は3代目です。昭和元年より続く(その前は静岡)港区唯一の弓具店です。高松宮様の弓具「鏃」を作られました。(本紙1号掲載)

■ 1926年 社団法人日本放送協会設立

**17 阿ぶらや化粧品店** 白金 1-6-12

神戸市出身の初代が現在地で小間物屋を開業したのは昭和の初めごろで、創業から87年。戦争で建物は全焼しましたが、海軍兵学校に入って間もなくだった2代目と新潟の赴任地から戻った兄一家とが両親を助け、再建したそうです。当時配給制だったタバコも扱い、店は繁盛したと聞いていますと、ご当主(昭和32年に今は亡き2代目と結婚)が話してくれました。

**11 クリーニング・カラキヤ** 高輪 2-7-8

長野から上京した初代が明治42年に創業、4代104年目を迎えるクリーニング店です。あえて1店舗での営業による品質管理と、昔ながらの「ご用聞き」の利便性とお客さまの好評を得ているそうです。



昔のお店の風景



**18 アカビシ薬局** 高輪 3-10-38

昭和2年(1927年)に創業して86年、現在3代目。代々女性の薬剤師さんです。アカビシという屋号は、三菱銀行(当時)の赤いダイヤのマークから、三菱のように大きくなるようにという、初代の思いが込められており、誰にでも読み易いようにカタカナにしたそうです。当時薬局は、町のサロンのような存在で、薬のことばかりではなく、子守りから家庭教師の仲介など、様々な相談事が持ち込まれていました。店舗が建て替えられた今でも、待合には、ヒノキのベンチが作りつけられ、創業者の思いを伝えています。

**19 上田印章店** 三田 5-16-12

昭和5年(1930年)に創業してから83年。店主は3代目です。現在ではめずらしく、職人が一本一本丁寧に手彫り印鑑を作っている印章店です。近くの高松宮様事務所印も彫刻されました。

**20 真水商店** 高輪 1-21-5

現在地にきたのは、昭和8年(1933年)で、創業して80年になりますが、それ以前は、牧野総本店の隣で、江戸時代からお豆腐屋さんをしてきたそうです。

**21 島表具店** 高輪 2-7-11

当主の嶋順一郎さんの父上が昭和8年(1933年)、高輪2丁目が開業してから今年でちょうど80年。嶋さんは18才の時から現在まで45年間表具の仕事をしています。父上は皇居の新宮殿の襖を貼ったこともある表具の名人といわれ、勅使河原蒼鳳の書の表具をしたものがルーブル美術館に展示されたこともあるそうです。

**22 田中花店** 高輪 3-10-5

品川は北馬場で修業していた初代が、この地に開店したのが昭和11年(1936年)、創業して77年です。当時は華道も盛んで、周辺のお屋敷に花を活けに行くということもあったそうです。

■ 1936年 国会議事堂竣工

**23 諸道具みやた** 高輪 1-27-21

初代が昭和13年(1938年)に創業してから75年、現在は3代目です。戦後の接収も危うく免れ、戦中戦後を通じて二本榎の街並みを見守ってきたお店です。店内には多彩な品々が所狭しと置かれています。



薬局の待合ベンチ



薬研(漢方薬を粉にする器具)

参考文献：「日本史年表」歴史研究会編(岩波書店)

今号で取材をさせていただきました皆さまには、お忙しい中ご協力をいただきありがとうございました。土地柄、創業の古いお店がたくさんあり、取材にご協力いただいたのに紙面の都合で掲載できなかったお店や取材に何えなかったお店の皆さまには、あしからずご容赦ください。

(担当/伊関、明石、吉田、梶、安藤)

# 暮らしプレイバック

つのだ やすこ  
お話を伺った人 枝光会附属幼稚園園長 角田 泰子さん



ぶどう棚を見上げる角田園長

当初はここから海が良く見えませんでした。線路の向こう側は全部海だったのですよ。すべり台の上に乗ると海が一望でき、船の行き来が見えたりしました。今では考えられませんね。園

■65年前の卒業生も、忘れずに顔を出してくれます  
今年で創立65年です。戦後当時、焼け跡に残っていたのは、五右衛門風呂の鉄のお釜、焼けトタン3枚、石灯籠と手でこぐ井戸です。あとは堀江さん（20号に登場した堀江英二氏）のところだけ。当時は各自家を築くために力を尽くしていましたから、子どものために何かをしてあげたら、ということから幼稚園の設立となりました。

■設立認可を得るには大変苦労しました  
大変だったことといえば、たくさんありますが、認可をとる時は本当に大変でした。申請に行く

と山のように書類があり、その一番下に書類を入れなければいけないのです。そんなことをしているのは認可がいつになるかわからないと思って、私は書類を抱えて直接必要な部署を回りました。それでやっと短期間で認可がおりりました。

はじめ幼稚園のためといった土地を提供して下さったのは、

## 創設以来、数多くの方々に支えられてきました

緑濃い高台に佇む枝光会附属幼稚園。1947（昭和22）年設立以来カトリックの精神に基づいて保育をしている幼稚園です。今回は創設当初から園長として活躍されている角田泰子さん（93歳）をお訪ねし、設立当時の様子や卒業生の思い出を語っていただきました。

舎も最初は木造でしたが、もう3回ほど建て直しています。門も今とは違って、園章も私が考え一人ひとり刺繍して作りました。お散歩は高松宮邸の中や幼稚園関係のお宅のお庭に行かせていただきました。

卒業生はすでに3000人を超え、広範囲の分野で活躍している人がたくさんおられます。2007年に新高輪プリンスホテルの「飛天」で60周年記念式典を行った時は、1000人以上の人が集まりました。

卒業生とは、今でもお付き合いしている人が多く、ここを訪ねてくれる卒業生がたくさんいます。外国にお住まいの方も帰ってくるのと必ずここへ顔を出してくれるのはとても嬉しいことです。

■設立認可を得るには大変苦労しました  
泉岳寺の近くですが、12月14日の義士祭の時にはお線香の煙が伊皿子あたり迄漂ってきたのは随分昔のことです。

園の前の自宅で処分されるといふぶどうの木をいただいたて植えたのが毎年実をつけ、年長組の子どもがいただくのです。今年も実をつけはじめました。

子どもはどんなにたずらっ子でも成長して変わっていくものです。幼いときに両親のもとであたたかく育てられた子は幸せです。

（担当／安藤、谷知、三村）



昭和23年当時の枝光会附属幼稚園

## 簡単和風たたき丼



読者 井島由美子さん（三田在住）のおすすめ料理

### ●材料（1人分）

ご飯.....100g  
牛肉（ブロック）.....100g  
白髪ねぎ.....少々  
わけぎ.....少々  
大根おろし.....少々

### タレ

醤油.....大さじ2  
みりん.....大さじ2  
酒.....大さじ2  
おろし玉葱.....大さじ1

### ●作り方

- ・牛肉にきつめに塩、こしょうをして常温に戻しておく。
- ・フライパンに大さじ1の油をひき強火で表面を焼き、アルミホイルで包む。
- ・30分程おいたら、5mm位にスライスする。
- ・器にご飯を盛り、上にスライスした牛肉をのせる。
- ・大根おろしをのせて、白髪ねぎとわけぎををちらし、タレ\*をかけて完成。

### ※タレ

- ・材料をフライパンに入れ、沸かしたら完成。



### ●ご本人のコメント

お肉のタレは私の母が昔から作っているものを受け継ぎました。いわゆるお袋の味です。すごく簡単ですが、あるようでない美味しいタレです。

### ♥ワンポイント・アドバイス

ポイントは、お肉を焼く前に常温に戻し、焼く際に火を通しすぎないことです。今回（写真）は、お肉はランプという部位で作りましたが、基本的にはどこの部位でも大丈夫です。



高輪地区を彩るすばらしい人材をご紹介します。仕事のこと、趣味のこと、地域のボランティア、誰にも真似のできない特技…テーマは問いません。

私の知っているあの人のこんな活動を知ってほしい、こんな面を紹介したい、という心当たりのある方、ぜひご一報ください。もちろん自薦も大歓迎！あなたの情報を待っています。

## 外資系のキャリアウーマンから 町工場の経営者に



あきえ  
瀧川 晶重さん (白金在住)

めにハード面、ソフト面の気配りをし、マネジメント業務に徹しています。

業界は従業員の高齢化・後継者問題など将来に対する課題が多くありますが、宝石のような人材が多く、高い技術力もあります。持ち前の英語力を生かして、自分の会社だけでなく、業界の発展のために、英語でのPR活動や海外とのやりとりのお手伝いを通して貢献していきたいとおっしゃる瀧川さんの瞳はキラキラと輝いていました。

瀧川晶重さんは、白金3丁目にあるバルブの加工、製造を行う従業員4名の有限会社山金工業の社長です。業界団体の会合や得意先主催のゴルフコンペにも参加されますが、いつも、女性は瀧川さんひとりです。以前は、外資系の会社のキャリアウーマンとして、世界を駆け巡っていましたが、父親が作った会社を手伝うようになり、7年前の相続により社長として経営を引き継ぐことになりました。



社長を引き継いだ時期は新工場の建設中であり、また、得意先の大規模倒産もあったことから資金繰りがひっ迫し大変な苦労もあったようですが、家族や従業員の団結と協力で難局を切り抜けました。「最初は父ならどうするだろうと常に思っていました、最近では父だったらと考えるなくなりました」と瀧川さん。いまでは、父親の時代を超える取引先を持つ会社となりました。瀧川さんは、社長も一つの役職であると考え、従業員が効率よく、気持ちよく仕事ができるようにするた

## 九州から北海道まで2000km、 歩いて縦断したフランス青年



バイイ アントワーヌ  
(Baily Antoine) さん  
28才 (高輪一丁目在住)

フランスで日本語を学び、現在は日本の企業に勤務しているアントワーヌさん、驚くほど流暢な日本語で、日本縦断の体験談を話してくれました。

2011年4月～6月、九州から北海道まで、2000kmを3カ月かけて歩きました。旅のルートは次のとおりです。

佐多岬―宮崎―白杵(大分県)からフェリーで八幡浜(愛媛県)―高松(香川県)からフェリーで神戸―大阪―京都―琵琶湖―福井―新潟―山形―青森―函館―苫小牧―宗谷岬。

東日本大震災が起きた直後だったので不安もありましたが、震災前から計画していたので、予定通り実行しました。日本は治安がとてよく、親切にしてくださいる方が多く、とても助かりました。お寺や知り合いの家に泊ったこともあります。雨の日は、合羽を着て歩き、重い荷物を背負い一日歩くので、全身が疲れて足も痛くなり、何でこんなことをしているのだろうと思うことも何度かありましたが、終わった後の達成感には本当にすばらしいものでした。忍耐力が付き、仕事の面でもプラスになりました。

学生時代、古事記を学んだこともあり、神話と伝説の町、高千穂(宮崎県)や金比羅宮(香川県)など歴史ある場所を訪ねることができ、



感激でした。旅をする楽しみは人との出会いです。佐渡では知り合いの家に泊まり、魚のさばき方を教わったり、山菜のてんぷら料理をご馳走になったりして、とてもよい思い出になっています。

今回の旅で最も警戒していたのは、人より熊でした。熊に会ったらどうしようと思っていましたが、幸い熊と出会うことはなかったです。今後は、中山道、日光街道など旧五街道を歩きたいです。以前、東海道を(日本橋―京都)7日間で歩きましたが、日数が足りず、また挑戦するつもりです。自転車も好きですが、歩くといつも新しい発見があって、歩いての旅にとっても魅力を感じます。

現在住んでいる高輪地区の印象をお聞きますと、緑が多く静かで便利なのでとても気に入っているとのこと。近くに大好きな和菓子のお店があり、大福を買うのが楽しみです。

# 区からのお知らせ

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085

## 白金高輪 グリーン ミュージック フェスティバル



### ■ 問い合わせ

高輪地区総合支所協働推進課  
地区政策担当  
TEL: 5421-7123  
FAX: 5421-7626

## 輪 音

### ～奏でよう!地域のハーモニー!～

「白金高輪グリーンミュージックフェスティバル」の開催(2月予定)に先がけて、高輪地区内で出前コンサート(全4回)を行います。入場は無料です。当日直接会場へお越し下さい。(会場先着順)

	日付	開演時間	場所	定員	内容(予定)
第1回	8月8日(木)	14:30	白金いきいきプラザ	50人	ゴスペル、フルートなど
第2回	8月20日(火)	15:45	豊岡いきいきプラザ	35人	ハワイアン、懐メロ、ゴスペルなど
第3回	9月12日(木)	14:30	高輪いきいきプラザ	40人	ピアノ・歌、ジャズコーラスなど
第4回	10月5日(土)	14:30	白金台いきいきプラザ	120人	二胡、合唱など



## 高輪地区歴史・文化資産のデジタルアーカイブ

### 『写真を撮影しながら巡る 古寺が魅力!高輪地区のまち歩き』が行われました!

6月9日(日)に、高輪に残る古寺などを巡り、現在の風景を写真撮影するまち歩きを実施しました。天候に恵まれ、晴天の中、アングルの違う写真を撮るなど工夫しながら、“現在らしさ”を意識した写真をたくさん撮ることができました。

また、6月30日(日)のワークショップでは、まち歩きで撮影した写真を区のホームページ等で公開するため、参加者の皆さんで話し合いながら、選定する作業を楽しく実施することができました。写真は、随時区のホームページで公開していますのでご覧ください。



### 高輪地区の昔の写真を探しています!

古い写真を持ち寄り、地域の資産として保存・活用していくワークショップを開催します!

古い写真を集め、変化し続けるまちの様子をデジタル保存し、区のホームページへの公開等により活用することを目指す、ワークショップを開催します。昔からの生活写真や風景写真など、ご自宅に保存されている写真資料はありますか? 写真資料についての意見交換を行い、地域の歴史や文化についての理解を深め、楽しくワークショップを行いましょ。



写真例:都電廃止の日(品川駅前)

日時・場所: ①平成25年9月21日(土)13:00~16:30 白金いきいきプラザ集会所  
②平成25年10月20日(日)13:00~16:30 高輪区民センター集会所  
※①、②2日間の参加をお願いします。  
募集人数: 15名程度(抽選)  
費用: 無料

対象地域: 三田4・5丁目、高輪、白金、白金台地域  
申込み: 8月2日(金)~9月2日(月) みなとコールへ(5472-3710)  
受付時間: 午前9時(初日は午後1時から受付)~午後5時  
問い合わせ: 高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 TEL 5421-7123

## さよなら 志田町保育園

志田町保育園は、昭和44年9月1日に区立8番目の保育園として開設されました。白金地区の保育園として、地域のお祭りに参加したり、“志保っ子まつり”を開催し、地域の方を招いたり地域密着型の保育園として44年の歴史を刻んできました。

8月31日に閉園し、9月からは三田4丁目の新園舎へ移り、伊血子坂保育園としてスタートします。これからも子どもたちのことを見守ってくださいな。

毎月、誕生会では趣向を凝らした演出をして、お祝いをしています。満面の笑みを浮かべ喜ぶ子どもの姿はいつの時代も変わりません。



“志保っ子まつり”では、皆で作った『おみこし』を年長児が担ぎ、近所の方から、たくさんの声援をもらいました。保護者や地域の皆さんも参加し、ヨロヨ一等のお店も大盛況。夏の楽しいお祭りでした。



年長児の太鼓の取り組みは、脈々と引き継がれています。伊血子坂に行っても太鼓の心地良い響きを伝えていきたいと思っています。



## 都税事務所からのお知らせ

### 税務職員を装った不審な電話 「還付金詐欺」にご注意ください!

税金などの還付金があるとだまし、お金を振り込ませる「還付金詐欺」が発生しています。東京都主税局では、電話でATMの操作をお願いすることは絶対にありません。不審に感じた場合は、相手の氏名、所属を確認の上、いったん電話を切り、指定された電話番号にはかけず下記問合先までご連絡ください。また、万が一被害にあわれた場合は、すぐに警察にご連絡ください。

### 【問い合わせ】

港都税事務所 相談広報担当 (03-5549-3800)  
または 主税局総務部総務課相談広報係 (03-5388-2924)

## 編集だより

高輪地域の老舗をたずねて驚いたことは、高松宮様がよなく近隣を愛していらしたことです。深い感銘を受けました。(明石)

明治学院大学学長先生や枝光会幼稚園園長先生のお話をうかがい、地域の歴史の重みや深さを実感しました。(安藤)

何気なく買い物をしていった商店に、歴史や創業の思いがあり、それを大切に日々商いを続けられていることに敬意を払います。(伊関)

初めての参加でしたが、皆さまのおかげで高輪地区の魅力を確認することができ、驚きの連続でした。私も街を歩きながら小さな発見をしていきます。(内村)

今回初めて編集に参加しました。普段は何気なく通り過ぎていた所にも古い歴史が息づいている、この町の懐の深さを感じました。(梶)

女性社長が頑張る町工場に感動しました。(河村)

今回は、商店街と町工場の女性経営者の取材を担当しました。「みなとつぶ」に係ったおかげで多様な出会いがあり、町に対する問題意識が深まりました。(菅野)

歩いて日本縦断したアントワヌさんは、もの静かな文学青年のようでした。歩き通した意志の強さに敬服すると共に、そのパワーはどこからくるのかしらと不思議でした。(滝川)

九州から北海道迄の徒歩での一人旅を成し遂げたフランスの青年。何気ない日本人の優しさを身に浸みて味わった旅もあった、と晴々とした様子が印象的でした。(三村)

ベットのコーナーが新設されて1年が経ちます。今まで登場してくれなかったワンちゃんや猫ちゃん達は、みんな個性的で魅力的でした。今回のかなちゃんも元氣一杯で、楽しい取材でした。(森)

今回の「表紙絵」は島田さんの沢山の作品からでなくご近所の泉岳寺に向き、初夏にふさわしい「新作」を格調高く仕上げてくださいました。ご厚意に心から感謝しております。(安)

穏やかな中にも凛とした風情で語る枝光会幼稚園の角田園長。幼児教育は、短期間でも人間の基盤を作る大切な時期なんです。(谷知)

高輪地区で古くから続く老舗の伝統を守りつつ、日々経営にいそしんでおられるご当主の皆様のご自信に満ちた笑顔が印象的でした。(吉田)

今回は、模型飛行機造りの取材が延期してしまいました。次号では、是非取材したいと思っています。(渡邊)

### 区民編集メンバー

- 安藤洋(チーフ) 菅野真美
- 谷知貞江(サブチーフ) 滝川まりえ
- 吉田由紀子(サブチーフ) 松島佐紀子
- 明石美穂子 三村晴子
- 伊関則子 森裕子
- 内村琴美 安勢津子
- 梶昌夫 渡邊義信
- 河村保弘

※この情報は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。